

兵庫教育大学



学報

第237号
平成14年4月

題字 中洲正堯学長



(関連記事 3ページ掲載)



目次

大学院連合学校教育学研究科平成13年度 学位記授与式式辞	2
大学院学校教育研究科平成13年度学位記 授与式式辞	3
学校教育学部平成13年度卒業式式辞	5
学事	6
・平成13年度大学院連合学校教育学研究科学位 記授与者数等	
・平成13年度大学院学校教育研究科学位記授与 者数等	
・平成13年度学校教育学部卒業証書・学位記授 与者数等	
・平成13年度附属学校(園)の卒業(修了)者 数等	
・平成14年度学校教育学部入学者選抜試験等	

人事	9
・人事異動	
諸報	13
・運営評議会・教授会・学校教育研究科委員会	
・連合学校教育学研究科委員会	
・外部評価会議を開催	
・放送大学との単位互換協定調印式	
・やしろ国際交流推進協議会(第13回)及び 外国人留学生歓送パーティーの開催	
・教員研修留学生の研究発表会の開催	
・平成13年度谷口賞の授与	
・兵庫教育大学永年勤続者表彰及び文部科学省 永年勤続者表彰	
・平成14年度公開講座の案内	
学内委員会等委員	18
主要日誌	27

大学院連合学校教育学研究科平成13年度学位記授与式式辞

学長 中 冽 正 堯

回りの竹林では、この時期、竹が懸命に竹の子育てに励んでいます。いろいろな植物が春のいとなみを伝えてくるこの佳き日に、地元社町助役、兵庫教育大学名誉教授をはじめとするご来賓各位のご臨席と、上越教育大学長、岡山大学長、鳴門教育大学長、連合学校教育学研究科長をはじめとする関係教職員各位のご列席のもとに、兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科平成13年度学位記授与式を挙げることは、修了生及び学位取得者のみなさんにとっては言うまでもなく、本研究科にとっても最高の慶びとするものであります。

今回、博士の学位を取得されたのは、課程博士7人、論文博士3人であり、第一期生から含めると、課程博士42人、論文博士7人になります。

連合学校教育学研究科を代表して、改めて、みなさんのご研鑽に敬意を表しますとともに、所期の目的を達成されたことに対して、心からお慶び申し上げます。また、この間のみなさんの教育研究を支えてこられたご家族の方々をはじめ、関係者のみなさまに改めてお礼申し上げます。

さて、学位を取得された今、これからも考えていただきたいことがあります。それは、本研究科が、「学校教育学」あるいは「教育実践学」を標榜していることについてであります。

常に申していることではありますが、本研究科は、教育の上に学校という冠（帽子）をかぶっております。そこで「学校教育」を核とした求心力と遠心力を考えたいと思います。「学校教育」に特化した研究は求心的なものであります。「学校教育」から家庭教育、社会教育、生涯教育等に及ぶ研究は遠心的なものであります。

また、本研究科は、教育の下に実践という沓（靴）をはいております。このことは、従来の教育学とは違って、理念的、哲学的、原理的、本質的なものの追究と、現実的、具体的、方法的、実践的なものの追究とを融合する学問を志向していることとなります。平たくいえば、その研究の成果が、研究の内輪で役立つことにとどまらず、子どもたちもふくめて、世の人々にどう役立つかが見える学問であります。

ご存じのとおり、本研究科は、学校教育実践学と教科教育実践学の二専攻です。そして教科教育実践学の中に、教科の専門科学と教科教育学とが含まれています。学校教育学あるいは教育実践学は、この

二極三側面の相関関係において成り立つものです。

その相関関係をよく導くものの一つは、教材開発論であると考えます。その教材開発が人間の全身の感覚との結びつきを忘れないもの、全身の感覚と離れないものであるなら、実践学への方向をたどるものとなるでしょう。これからは研究・教育の指導者の立場になるみなさんとともに考えてみたいことを、一つの事例をもとに話してみます。

たとえば、植物の「竹」という題材は、どういう教科の教材たりうるのでしょうか。

自然科学の立場から、含まれている化学成分からの筍が美味しい理由、竹の原産地や世界での分布と遺伝子構造との関係、竹材の強靱さや竹の皮の殺菌力の秘密、竹のライフサイクルなどの研究、文系的な側面では、考古学や歴史学からの日本における竹利用の歴史の学習、神話や物語で象徴的に使われる竹の神秘性、短歌や俳句に詠われた竹と人間の関わりなどの研究が可能です。ということは、その研究の過程と成果の追体験や、その応用による課題発見と創造的な学習が期待されるということです。

私の出会った「竹」に関する実践の一つを紹介します。広島大学附属小学校の「竹を通して見えてくる世界」という国際理解教育の単元です。これは、第一学年、第三学年、第六学年にまたがって、体験活動や調査活動を織りまぜての実践です。単元設定の趣旨は、「子どもたちにとって身近な素材である竹に着目させることにより、そこから人間の生活と竹とのかわりに対する視野を広げ、世界の各地域にあるさまざまな事象や文化、そしてその背後にある人間の願いや祈り、生き方を感じさせ、理解させるような単元構成を考えたのである」というものです。

式辞の冒頭で、竹林のことを述べました。ちょっと奇異に感じられたかもしれませんがきょうの話題の誘い水のつもりでした。竹は筍育てが終わると、葉を落とし始めます。この時期を「竹の秋」と言いますが、春の季語です。最近旅先で求めた週刊誌に筍の話が出ておりました。筍ごはん、吸い物、木の芽和え、刺身などの「食」の文化の紹介記事ですが、生産量全国一位の福岡県にあって、最も上質な筍を生み出す北九州市合馬地区のことや、「デミョウコサンカラモソ」という鹿児島のことわざを学びました。デミョウは大名竹（寒山竹）、コサンは布袋竹の古名、カラは唐竹（淡竹の別名）、モソは孟宗竹、これが筍のおいしい順序だそうです。筍といえば孟

宗竹が常識ですが、鹿児島では最下位ということになります。筆者の塩田丸男氏は、究極はわが家の味というわけで、先の料理に鉄板焼きを加えています。

本学の学校教育研究センターの紀要『学校教育学研究第13巻』に、山口修教授・今村彰教諭共著の「タケ林のキノコをとおしてみる環境教育」という論文が掲載されています。これも「竹」にかかわる研究の広がりであり、同時に学びの「材」(教材)になっていきます。中学三年生がきのこのキノガサタケの成長を追っています。

以上、一つの題材(教材)を核に、教育実践学を形成するいくつかのベクトルを例示し、それらがやがて総合され、体系化される期待を述べました。

博士という学位を取得するために、みなさんがこの年月に傾注された努力は、並大抵のものではありませんでした。私も、主指導教官経験者の一人として、そのことは実感として分かります。その結果としての学位取得について、心からおめでとうと申し上げますとともに、これを新たな出発点として、博士の「博」の意義を体得していかれることを念じてやみません。

私たちの研究科が「学校教育学研究科」であり、それぞれの専攻が「実践学専攻」であり、学位は「博士」であること、その文字通りのことを指標として、すぐれた研究者として、あるいは最高度の専門職業人として、ますます発展していかれまよう、みなさんの前途のご多幸を祈って式辞といたします。

平成14年3月26日



大学院学校教育研究科平成13年度学位記授与式式辞

学長 中 冽 正 堯

ここ嬉野台のキャンパスの一隅には早くも^{あしび}馬酔木の花が咲いております。周縁道路の木蓮の蕾もふくらみ、いっそう春の気配が漂い始めた今日この佳き日に、本学名誉教授、社町助役、同窓会長をはじめとするご来賓各位、本学役職員をはじめとする教職員各位、そして、ご家族のみなさまのご臨席のもとに、兵庫教育大学大学院学校教育研究科平成13年度学位記授与式を挙行できますことは、修了生のみなさんにとっては言うまでもなく本学にとっても最大の慶びとするところであります。

新しく修士の学位を取得されたのは275人です。この中には、神戸サテライトでの初めての修了生30人を含んでいます。昭和56年度からの修了生から数えますと、本学は5,114人の修士のみなさんを世に送り出したこととなります。

なお、本日をもって、4人の教員研修留学生在が研修を終えられます。こちらのほうは、本年度で67人の方が、母国に帰って活躍されることとなります。

大学を代表して、改めてみなさんに心からお慶び申し上げますとともに、みなさんの二年間にわたる教育研究を支えて来られたご家族の方々をはじめ、

各教育委員会、所属長、在籍校のみなさまに、心よりお礼申し上げます。

二年間の課題研究、その成果としての修士論文はいかがでしたか。その研究の広さと深さについて、自己評価もさまざまであろうかと思えます。狭かったとおもえば、今後、実践的に広げていけばいいし、浅かったとおもえば、今後、実践的に深めることを心がけていけばいいと思えます。課題研究の最大の成果は、自分のおこなった研究の内容と方法がどのレベルのものであるか、自分でわかるようになることではないでしょうか。

さて、これからは、評価の時代に入ると予想されます。教育界はもとより、広く社会や文化全般にわたって評価を求める時代です。そうなればなるほど、評価にしなやかな観点が必要になってくるでしょう。そのことを具体的に考え、この年度に修了するみなさんの記憶にとどめるためにも、先頃ベルリン映画祭で金熊賞を獲得した、宮崎駿監督のアニメ映画「千と千尋の神隠し」を話題にし、その評価の観点と評価の仕方に学んでみようと思えます。

評価の第一は、興行成績です。報道によれば、2

月15日現在で、延べ約2,200万人が見、293億円の興行収入を上げていると言います。それでも、修了生のみなさんの中には、興味もなく、また課題研究に忙しくて見ていない人もおられるでしょうから、中身を紹介しておきます。

十歳になる千尋と両親が、郊外に新しく買った家に行く途中、道を間違えて半妖怪やお化けが棲む不思議な温泉町に迷い込む。両親は、温泉町の中華料理屋で、ただ食いをした罰で豚にされてしまう。ひとり残された千尋は湯屋で働くはめになる。そこは、乱開発や環境破壊のせいで疲れ果てた日本各地の神々が病氣と傷を癒しに来る場所であった。ハクと名乗る少年、リンというお姉さん、六本の手足を持つ釜爺さんなどに助けられながら、湯屋の経営者で強欲無比な湯婆婆に自分の名を奪われて千となった千尋は、生きのびるため、両親を救い出すために、懸命に働く。千は、河の神様やカオナシという謎の男を助けたり、また、湯婆婆とは双子で善良な魔女である銭婆に助けられたり、また、ハクを助けたり、この助け助けられる世界を繰り返しながら、千は湯婆婆に対する勝利を得て、魔法から解放され、両親とともに人間界に帰っていくのである。そういう話です。

受賞を伝えた2月18日の新聞は、「ベルリンの上映会では、記者や批評家らの評価こそばらつきがあったが、観客の反応は上々で」と記していますが、ばらつきというのは、多数の無関心派と少数の熱烈な支持派に分かれたようです。

評価の中には、いくつかの先行文化との比較がみられますが、最も徹底しているのが、高級紙とされるフランクフルター・アルゲマイネで、「広重をチーフアニメーターにしたかのような絵柄で、手がきアニメの最高峰であるディズニーの『ピノキオ』にかつてないほど迫った」とユニークな指摘をした上で、「ミヒャエル・エンデ、ルイス・キャロル、モーリス・センダック、アーシュラ・ルグウィンの作品からエキスを取り出し、ファンタジーの花火にして打ち上げた。公開と同時に古典の地位を獲得するだろう」と絶賛しているとのことでした。

宮崎駿自身は、「自分としてはずっと昔に見た日本の『白蛇伝』やソ連の『雪の女王』のような作品にたどり着きたい」と言っているそうです。

作品のテーマを受け止め、「子どもの内面に広がる世界の確かな地図である」とする批評もありますが、受賞の前に書かれた正木晃の次のようなユニークな批評もあります。正木は、宗教学的な視座から主人公の絶妙な年齢設定を評価しています。十歳は「心身ともに大きな変化があり、逆にいえば、バラ

ンスを乱しやすく、きわめて不安定な時期でもある」と言い、これは、宗教者たちがその極限的な修行体験において、あえて心身のバランスをくずすことによって宗教的達成を果たすことに重なると言っています。正木は、宮崎駿を「日本最大の思想家」とまで言っていますが、その理由を「彼は、人と人ならぬ者たち、さらに人と自然が互いに交流できるという、日本人の宗教的伝統に根ざす思想を21世紀に再生し、主題歌にあるように『生きている不思議、死んでいく不思議』を、老若男女、年齢を問わず、おおくの現代人にむかって語ることに成功した。」としています。

映像展開の手法の面に注目して、「波乱のあとに不意に広がる静寂の瞬間」「一瞬の静寂、平穏は現代社会の不条理と拮抗したものだ」（川本三郎）という人もあり、そのメリハリを「パワーがあり洗練されたファンタジー」と評するものもあります。さらには、「この映画の真の主人公は、人物ではなく物語の舞台である場所そのものではないか」という人さえいます。

『千と千尋』はすっきりしない部分も多い。」という人もあり、ゴタゴタ盛り込みすぎだという印象をもつ人もあります。私には、そのゴタゴタの部分部分、場面場面の鮮明な動きと色彩が、私自身の幼少期の暗黙知の世界に次々に光を投げかけてくるのを感じたものです。

このように、作品の多彩性が評価の多角性、多様性を呼び込んでいます。評価の時代を迎え、その観点の広がりに心したいと思います。

以上、「千と千尋の神隠し」を事例として、今、私どもが考えなくてはならない事柄と、評価のありようを課題にいたしました。

おわりに、研究科修了生、留学生をふくめて、みなさんの前途が、世界の子どもや若者たちとともに、希望の灯をともしつづけるものであり、幸い多いものであることを祈って式辞といたします。

平成14年3月25日

大学院学校教育研究科(夜間クラス)
平成13年度学位記授与式式辞

(本文は同様)

平成14年3月25日

学校教育学部平成13年度卒業式式辞

学長 中 洌 正 堯

木々の芽ぐみの盛んなる今日の佳き日に、本学名誉教授、社町助役、後援会会長をはじめとするご来賓各位、本学役職員をはじめとする教職員各位、そして、ご家族の皆様のご臨席のもとに、兵庫教育大学学校教育学部平成13年度卒業式を挙行できますことは、卒業生のみなさんにとっては言うまでもなく、本学にとっても大いに慶びとするところであります。

新しく学士号を取得されたのは、191人であり、昭和60年度からの卒業生を入れると、本学は3,397人の学生のみなさんを世に送り出したこととなります。

大学を代表して、みなさんに改めてお慶び申し上げますとともに、みなさんの四年間にわたる勉学を支えてこられたご家族の方々に心からの感謝とお慶びを申し上げます。

卒業は、一つの区切りであります。みなさんは、小学校以来、四つ目の区切りを迎えたこととなります。大学卒業というこの四つ目の区切りは、社会的には、これまでかなり重い位置を占めてきましたが、みなさんの今の実感としてはいかがでしょうか。学びの世界をどう捉えるかにもよりますが、生涯学習の考え方をとりますと、大学卒業は人生の通過点であり、これからがいよいよ現場と直結する、新たな学びの出発点に立つこととなります。

私自身、顧みて、今日までさまざまな角度からさまざまなことを学びつづけて参りました。その中で、今も心に残り、たまに意識にのぼってくる話を、みなさんと分かち合いたいと思います。

オリンピックといえば、つい最近では、ソルトレークオリンピック大会のことが目や耳に残っていますが、みなさんは、技能オリンピックというのをご存じですか。

この大会の、家具の木工技術の部に、日本がはじめて参加したのは、1963年のスペイン大会だそうです。参加したのは、21歳の若者でした。若者は向こうに着いて、大気の乾燥のために日本から運んだカンナにわずかなくいるが生じているのを知ったんですね。家具を制作する持ち時間は30時間です。そのうち、カンナのくるいを修正するのに6時間を使い、その後ゆうゆう仕事にかかり、しかも他国に先だって時間を余して優勝した、というのです。この話を、もう20年も前に、書物（『土着の学問の発想』）で読

んだのですが、その後も意識にのぼってくるのは、この話について、書物の著者（タカハラ タケヨシ）が訴えかけるように述べていた次のような言葉です。

「あえて、私は想像する。ジャーナリストたちが見ようとしないその六時間。ほかの選手が手なれたしぐさで早々と木材を計り、割り、切り、釘を打ち、どんと仕事をはかどらせているあいだ、ただじっと異郷の木材を見つめ、その木質をしらべ、その手ざわりをみ、その鳴る音をきき、それにあわせて持参のカンナの刃と木材のくるいを計り、二つの国の木のはだのリズム、空気のにめり、吹く風のしらべに聴き入り、その遠くはなれた東西の風土の固有振動数のある一点に共鳴させようとするその点をカンナの上に求め探した彼の六時間、この時間の彼の目と手と心の動きにひとと焦点をあてた一人のジャーナリストのカメラもなかったのか。」著者、タカハラ タケヨシはそう言っています。

冒頭に、「あえて、私は想像する。」とあるように、これは事実そのものではないかもしれませんが、ただ、技能オリンピックで優勝するような技術は、その場の環境と材料と道具、それらもろもろのものに対する全身、全感覚の優れたはたらきをともなつて生まれることは、じゅうぶん同意できます。著者が訴えたいのはこの若者の仕事を、勘で勝負する職人芸と見て、科学とは見なかったジャーナリストたちへの不満です。著者は、さらに訴えかけます。

「そうしてこの貴重な技術を、民族の学術を、真のあるべき地位に位置づけ、当然の報酬と必要な伝承手段を確保し、これと他の系統の文化とを両立させ、その文化の恵沢を全国民全人類のものとしてとりもどすべき社会の仕組みを考えること、それを仕事とする社会学者はいないのか。」要するに、優勝した若者の技術と精神の中に、りっぱに学問も科学もあるではないか、なぜそれをきちんと位置づけ、だいにしないのかと訴えているわけです。とにかく、報道は、そんな科学や学術上のことよりも、あの、日本の若者の手もとから舞い上がる長い美しいカンナくずのリボンを、見物人が嘆声を上げて取ろうと殺到したことの、感動のルポルタージュに終始したようなのです。

さて、この話題から、私の中に今も生じている学習課題があります。

一つは、何か物を創ろうとするとき、あの若者の

ような姿勢や態度を生かすとすれば、それはどうすることかと考えることです。言い換えれば、自ら技術者、つまり実践者として生きるにはどうするかということです。

二つには、あの若者の行動を、きちんと捉え、意義づける力を身につけるには、日頃から何を心がければよいかと考えることです。言い換えれば、自ら評価者として生きるにはどうするかということです。

三つには、あの若者のような姿勢や態度をもつ技術者、つまり実践者をどう育てるかということです。

四つには、あの若者のような技術や精神のよさがわかる評価者をどう育てるかということです。

前の二つは自らが技術者（実践者）や評価者になろうとする課題であり、後の二つは他者を技術者（実践者）や評価者に育てようとする課題であります。

以上が、技能オリンピックのエピソードを通して、みなさんと分かち合いたいことでもあります。

今日の卒業の日を、生涯かけて自分に学習課題を与える出発の日として、力強く踏み出してください。みなさんの前途のご多幸を祈っております。

平成14年3月25日



- 学 事 -

平成13年度大学院連合学校教育学研究科学学位記授与者数等

3月26日（火）午前11時30分から本学講堂において、大学院連合学校教育学研究科学学位記授与式を挙行し、8名に学位を授与した。

なお、博士の学位が授与された者の氏名、論文題目等は次のとおりである。

〔課程博士〕

氏名	学位の種類	授与年月日	論文題目
松島 るみ	博士(学校教育学)	H14.3.26	青年期(中学生)における自己開示を規定する要因の検討
吉田 剛	"	"	地理的見方・考え方, 地理的技能を育成する社会科地理授業のための学習指導システム - 世界イメージ形成のための方策から -
Chowdhury Mohammad Ehsan Karim	"	"	Eolian Dust Deposition and Monsoon Changes in the Japanese Islands since the Last Interglacial Period (最終間氷期以降における日本列島の風成塵堆積とモンスーン変動)
鈴木久米男	"	"	理科学習指導における観察・実験の役割に関する実践的研究
岡本 信一	"	"	「創造的思考力」を育成するための音楽科の学習過程に関する教科教育学的研究
佐々木貴子	"	"	他者性 の育成を担う美術教育の実践に関する研究
松枝 睦美	"	"	青少年期における骨強度獲得過程に関する研究 - 発育・成熟と生活習慣の影響 -

〔論文博士〕

氏名	学位の種類	授与年月日	論文題目
森本 浩一	博士(学校教育学)	H14.3.14	環境が生物に及ぼす影響を示す教材の開発 - 紫外線を中心にして -
石井 俊行	"	"	子どもの学習過程の解明に基づいた理科学習指導に関する基礎的研究 - 中学校理科第1分野の基礎・基本の重視を中心として -
森山 潤	"	"	学習指導の改善に向けたプログラム作成作業における思考過程の構造的分析

平成13年度大学院学校教育研究科学位記授与者数等
(平成14年3月25日)

専攻・コース	入学定員 人	学位記授与者数 人
学校教育専攻	105	14(3)
教育基礎コース		9(0)
教育経営コース		18(3)
教育方法コース		14(3)
生徒指導コース		10(8)
幼年教育コース		41(23)
教育臨床コース		22(11)
昼間クラス		19(12)
夜間クラス		105
小計		106(40)
障害児教育専攻	25	28(12)
教科・領域教育専攻	170	32(9)
言語系コース		24(2)
社会系コース		24(4)
自然系コース		23(15)
芸術系コース		15(9)
生活・健康系コース		23(8)
総合学習系コース		12(2)
昼間クラス		11(6)
夜間クラス		170
小計		141(47)
合計	300	275(99)

備考:()内の数字は、女子を内数で示したものである。

学位記授与者の都道府県別内訳(本籍地別)

都道府県	学位記授与者数 人	都道府県	学位記授与者数 人
北海道	3	京都	11(2)
青森		大阪	19(7)
岩手	3(3)	兵庫	110(42)
宮城		奈良	5(3)
秋田		和歌山	4(2)
山形		鳥取	4
福島	1	島根	4(1)
茨城	1	岡山	10(4)
栃木		広島	4(2)
群馬	2(1)	山口	4(1)
埼玉	6(2)	徳島	1(1)
千葉	3	香川	4(3)
東京	3(2)	愛媛	4(2)
神奈川	2(1)	高知	
新潟	1(1)	福岡	2
富山	1(1)	佐賀	3
石川	1	長崎	3(2)
福井	5(3)	熊本	4(1)
山梨	1(1)	大分	1
長野	2(1)	宮崎	4
岐阜	3(3)	鹿児島	8(1)
静岡	5	沖縄	
愛知	10(2)	外国	3(2)
三重	4(1)		
滋賀	6(1)	合計	275(99)

備考:()内の数字は、女子を内数で示したものである。

平成13年度学校教育学部卒業証書・学位記授与者数等
(平成14年3月25日)

専修・専修コース		卒業者数
学校教育専修		28(19)
幼児教育専修		18(16)
教科領域教育専修	言語系専修コース	29(22)
	社会系専修コース	21(7)
	自然系専修コース	39(24)
	芸術系専修コース	25(19)
	生活・健康系専修コース	31(16)
小計		145(88)
合計		191(123)

備考:()内の数字は,女子を内数で示したものである。



学位記授与者の都道府県別内訳(本籍地別)

都道府県	学位記授与者数	都道府県	学位記授与者数
	人		人
北海道		京都	1(1)
青森		大阪	9(6)
岩手		兵庫	101(66)
宮城		奈良	2(1)
秋田		和歌山	1(1)
山形		鳥取	6(3)
福島		島根	9(6)
茨城		岡山	9(8)
栃木		広島	6(2)
群馬		山口	1
埼玉		徳島	3(3)
千葉		香川	1(1)
東京		愛媛	6(6)
神奈川		高知	1(1)
新潟		福岡	2(1)
富山		佐賀	1(1)
石川	4(4)	長崎	4
福井		熊本	2(1)
山梨		大分	1(1)
長野		宮崎	6(2)
岐阜	1(1)	鹿児島	7(3)
静岡	1(1)	沖縄	2(1)
愛知	1(1)	外国	1(1)
三重	1		
滋賀	1	合計	191(123)

備考:()内の数字は,女子を内数で示したものである。

平成13年度附属学校(園)の卒業(修了)者数等

区分	附属小学校		附属中学校		附属幼稚園	
	卒業(修了)者数	男子 41人	81人	男子 63人	118人	男子 31人
	女子 40人		女子 55人		女子 34人	

平成14年度学校教育学部入学者選抜試験等

平成14年度学校教育学部個別学力検査等入学者選抜試験<前期課程>を2月25日(月)・26日(火),私費外国人留学生特別選抜試験を2月27日(水)に実施し,それらの合格者の発表を3月6日(水)に行った。

また,同<後期日程>を3月12日(火)に実施し,3月20日(水)に合格者を発表した。

志願者数等の概要は,次のとおりである。

	志願者数	受験者数	合格者数
個別学力検査等	人	人	人
入学者選抜試験<前期日程>	344(232)	309(212)	94(61)
個別学力検査等			
入学者選抜試験<後期日程>	265(148)	127(72)	31(13)
私費外国人留学生特別選抜試験	4(2)	2(2)	0(0)

備考:()内の数字は,女子を内数で示したものである。

- 人 事 -

人事異動

(役職者等)

年 月 日	発令事項	新 官 職 等	氏 名	旧 官 職 等
14. 4. 1	併 任	附属図書館長(16.3.31まで) 運営評議会委員(16.3.31まで)	岩 田 一 彦	
"	"	学校教育研究センター長(16.3.31まで) 運営評議会委員(16.3.31まで)	三 野 耕	
"	"	第1部主事(16.3.31まで) 運営評議会委員(16.3.31まで)	今塩屋 隼 男	
"	"	第2部主事(16.3.31まで) 運営評議会委員(16.3.31まで)	河 村 昭 一	
"	"	第3部主事(16.3.31まで) 運営評議会委員(16.3.31まで)	西 村 年 晴	
"	"	第4部主事(16.3.31まで) 運営評議会委員(16.3.31まで)	森 川 京 子	
"	"	第5部主事(16.3.31まで) 運営評議会委員(16.3.31まで)	増 澤 康 男	
"	命 併 任	第1部副主事(16.3.31まで) 運営評議会委員(16.3.31まで)	安 部 崇 慶	
"	"	第2部副主事(16.3.31まで) 運営評議会委員(16.3.31まで)	山 岡 俊 比 古	
"	"	第3部副主事(16.3.31まで) 運営評議会委員(16.3.31まで)	崎 谷 真 也	
"	"	第4部副主事(16.3.31まで) 運営評議会委員(16.3.31まで)	森 岡 茂 勝	
"	"	第5部副主事(16.3.31まで) 運営評議会委員(16.3.31まで)	荒 木 勉	
"	併 任	附属実技教育研究指導センター長 (16.3.31まで)	松 下 健 二	
"	命	情報処理センター長 (16.3.31まで)	正 司 和 彦	
"	"	教育基礎講座 講座主任 (前任者:安部崇慶教授)	杉 尾 宏	
"	"	幼年教育講座 講座主任 (前任者:田中亨胤教授)	名須川 知 子	
"	"	教育臨床講座 講座主任 (前任者:塩見邦雄教授)	藤 田 継 道	
"	"	障害児教育講座 講座主任 (前任者:郷間英世教授)	山 口 洋 史	
"	"	社会系教育講座 講座主任 (前任者:岩田一彦教授)	河 村 昭 一	
"	"	自然系教育講座 講座主任 (前任者:渡辺金治教授)	西 村 年 晴	
"	"	芸術系教育講座 講座主任 (前任者:笹山幸徳教授)	森 川 京 子	
"	"	学校教育研究センター 学校問題解決研究部門 部門主任	古 川 雅 文	
"	"	学校教育研究センター 情報メディア教育研究部門 部門主任	成 田 滋	
"	"	学校教育研究センター 実地教育支援研究部門 部門主任	上 西 一 郎	

(学部等)

年 月 日	発令事項	新 官 職 等	氏 名	旧 官 職 等
14. 3. 31	定年退職		原 田 碩 三	学校教育学部教授 (幼年教育講座)
"	"		辻 田 嘉 邦	学校教育学部教授 (芸術系教育講座)
"	"		井 澤 利	学校教育学部教授 (芸術系教育講座)

年月日	発令事項	新官職等	氏名	旧官職等
14. 3.31	辞職	立教大学社会学部助教授	水上徹男	学校教育学部助教授 (社会系教育講座)
"	"	神戸文化短期大学教養学科講師	長尾夏樹	学校教育研究センター助手
14. 4. 1	転出	京都教育大学教育学部教授	安東茂樹	学校教育学部助教授 (生活・健康系教育講座)
"	昇任	学校教育学部教授 (幼年教育講座)	横川和章	学校教育学部助教授 (幼年教育講座)
"	"	学校教育学部教授 (芸術系教育講座)	竹内俊一	学校教育学部助教授 (芸術系教育講座)
"	"	学校教育研究センター教授	長瀬久明	学校教育研究センター助教授
"	"	学校教育研究センター教授	古川雅文	学校教育研究センター助教授
"	"	学校教育研究センター教授	長澤憲保	学校教育研究センター助教授
"	"	学校教育学部助教授 (芸術系教育講座)	小泉恭子	学校教育学部助手 (芸術系教育講座)
"	"	学校教育学部助教授 (総合学習系教育講座)	佐藤真	学校教育学部講師 (総合学習系教育講座)
"	"	学校教育研究センター助教授	鈴木正敏	学校教育研究センター講師
"	"	学校教育研究センター助教授	別惣淳二	学校教育研究センター助手
"	転任	学校教育学部助手 (社会系教育講座)	橋本康弘	広島大学附属福山中学校教諭
"	採用	学校教育学部助教授 (幼年教育講座)	嶋崎博嗣	白鷗大学女子短期大学部講師
"	"	学校教育学部助手 (幼年教育講座)	石野秀明	
"	"	学校教育学部助手 (自然系教育講座)	永谷広久	スイス連邦工科大学 ローザンヌ校化学科助手
"	"	学校教育学部助手 (生活・健康系教育講座)	前田智子	
"	"	学校教育研究センター助手	山城新吾	
"	併任	学校教育学部教授(15.3.31まで)	塩見邦雄	

(附属学校)

年月日	発令事項	新官職等	氏名	旧官職等
14. 3.31	定年退職		村田好子	附属中学校教諭
"	辞職	兵庫県小野市立小野小学校教諭	廣瀬憲雅	附属小学校教諭
"	"	兵庫県教育委員会事務局 義務教育課指導主事	吉川芳則	附属小学校教諭
"	"	兵庫県加古川市立鳩里小学校	原恵理 (旧姓 吉田恵理)	附属小学校教諭
"	"	兵庫県加西市立西在田小学校 養護教諭	堀尾直美	附属小学校養護教諭
"	"	兵庫県三木市立志染中学校教諭	藤田有	附属中学校教諭
"	"	兵庫県加美町立加美中学校教諭	上月一郎	附属中学校教諭
"	"	鹿児島県 鹿児島市立黒神中学校教頭	奥山茂樹	附属中学校教諭
"	"	兵庫県姫路市立豊富幼稚園教諭	多田琴子	附属幼稚園教諭
14. 4. 1	採用	附属小学校教諭	植田悦司	兵庫県篠山市立岡野小学校教諭
"	"	附属小学校教諭	田中康善	兵庫県小野市教育委員会 体育保健課指導主事

年月日	発令事項	新官職等	氏名	旧官職等
14. 4. 1	採用	附属小学校養護教諭	内藤千秋	兵庫県尼崎市立尼崎工業高等学校養護教諭
"	"	附属中学校教諭	足立幸謙	兵庫県加美町立加美中学校教諭
"	"	附属中学校教諭	河西利枝	兵庫県加古川市立加古川中学校教諭
"	"	附属中学校教諭	西森良企	兵庫県三木市立志染中学校教諭
"	"	附属中学校教諭	日高京美	鹿児島県曾於郡大隅町立恒吉中学校教諭
"	"	附属幼稚園教諭	上中修	兵庫県姫路市立飾磨幼稚園教諭

(事務局)

年月日	発令事項	新官職等	氏名	旧官職等
14. 3.31	定年退職		西森宗八郎	教務部長
"	14. 3.30 限り退職		高橋ひろみ	教務部教務課研究協力係 事務補佐員(自然・生活・健康棟)
"	"		大久保紀子	教務部教務課研究協力係 事務補佐員(芸術棟)
14. 4. 1	転出	金沢大学事務局長	大島有史	事務局長
"	"	弘前大学総務部総務課長	吉田元重	総務部庶務課長
"	"	宮崎医科大学総務部会計課長	水井義武	総務部会計課長
"	"	大阪大学施設部企画課長	郡田等	総務部施設課長
"	"	徳島大学総務部人事課長	海堀行雄	教務部図書課長
"	"	神戸大学医学部学務課課長補佐	岡田清	教務部教務課課長補佐 (命)研究協力推進室長
"	"	神戸大学医学部総務課人事掛長	葛原政志	総務部庶務課専門職員(企画調整担当) (命)企画室長
"	"	神戸大学総務部人事課 給与第一掛長	濱本浩司	総務部庶務課人事係長
"	"	神戸大学経理部主計課管財掛長	畑基	総務部会計課出納係長
"	"	佐世保工業高等専門学校庶務課長	松田篤郎	総務部会計課情報システム係長
"	"	琉球大学総務部国際企画課長	白川和弘	教務部学生課専門職員 (進路指導担当)
"	"	神戸大学経理部主計課 司計第一掛員	小西悟	総務部会計課司計係員
"	"	神戸大学医学部管理課司計掛員	元井重樹	総務部会計課用度係員
"	"	大阪大学医学部等人事掛員	仙石英治	教務部教務課研究協力係員
"	転入 (昇任)	事務局長	川本幸彦	京都大学企画調整官
"	" (昇任)	教務部長	荒川忠雄	神戸大学学生課長
"	"	総務部庶務課長	小林和則	大学入試センター 事業部事業第一課長
"	"	総務部会計課長	伊藤茂治	愛媛大学経理部経理課長
"	" (昇任)	総務部施設課長	山田富男	高知医科大学業務部施設課 課長補佐
"	" (昇任)	教務部図書課長	蔵野由美子	東京大学附属図書館情報管理課 資料契約掛長
"	"	総務部会計課課長補佐 (併)情報システム係長	土井隆	神戸大学庶務部大学院課専門員

年月日	発令事項	新官職等	氏名	旧官職等
14. 4. 1	転入 (昇任)	総務部庶務課人事係長	中野下 勉	神戸大学庶務部人事課任用第二掛主任
"	" (昇任)	総務部会計課出納係長	足立 裕	神戸大学農学部会計掛主任
"	" (昇任)	教務部学生課専門職員 (学生寄宿舎担当)	岡部 均	神戸大学医学部医事課医事掛主任
"	"	教務部入学主幹付入学試験係主任	藤井 康博	神戸大学総合情報処理センター業務掛主任
"	配置換	教務部教務課課長補佐	高見 勉	総務部会計課課長補佐
"	"	総務部庶務課専門職員(企画担当) (命)企画室長	小嶋 國裕	教務部学生課専門職員(就職指導担当) (命)就職問題対策室長
"	"	教務部学生課専門職員(就職指導担当) (命)就職問題対策室長	西島 諒一	教務部入学主幹付専門職員 (入学者選抜担当)
"	"	総務部庶務課専門職員 (広報・連携担当)	菅野 敬也	総務部庶務課企画法規係長
"	"	総務部庶務課専門職員(研究推進担当) (命)研究協力係長	深田 哲	教務部教務課専門職員(研究推進担当) (命)研究協力係長
"	"	総務部庶務課専門職員 (研究協力担当)	内橋 孝夫	教務部教務課専門職員 (学術情報担当)
"	"	総務部庶務課庶務係長	松本 隆明	総務部会計課総務係長
"	"	総務部会計課総務係長	木下一郎	教務部学生課学生係長
"	"	総務部会計課管財係長	村井 陽一	教務部教務課専門職員 (学術国際担当)
"	"	教務部教務課専門職員(実地教育担当) (命)山国地区事務室長, 学校教育研究センター係長	高宮 進	総務部庶務課庶務係長
"	"	教務部教務課専門職員 (大学院教務担当)	八木 浩一	教務部学生課専門職員 (学生寄宿舎担当)
"	"	教務部教務課専門職員 (学部教務担当)	上田 一也	教務部教務課学部教務係長
"	"	教務部教務課教務企画係長	藤原 賢二	教務部教務課大学院教務係長
"	"	教務部教務課連合大学院事務係長	栗山 義和	総務部庶務課連合大学院事務係長
"	"	教務部学生課専門職員 (留学生担当)	蘆田 壽	教務部教務課専門職員 (留学生担当)
"	"	教務部学生課学生係長	長舩 晴雄	総務部会計課管財係長
"	"	総務部庶務課職員係主任	西村 直美	総務部庶務課連合大学院事務係主任
"	"	総務部会計課総務係主任	中曾 正博	教務部入学主幹付入学試験係主任
"	"	教務部教務課教務企画係主任	谷林 径明	教務部教務課大学院教務係主任
"	"	教務部教務課教務企画係主任	広田 正美	教務部教務課大学院教務係主任
"	"	教務部教務課 学校教育研究センター係主任	橋本 美紀	教務部学生課学生係主任
"	"	総務部庶務課研究協力係員 (教育・言語・社会棟)	藤井 三香子	教務部教務課大学院教務係員
"	"	総務部庶務課研究協力係員 (自然・生活・健康棟)	西村 明	教務部教務課研究協力係員 (自然・生活・健康棟)
"	"	総務部庶務課研究協力係員 (芸術棟)	吉川 和宜	教務部教務課研究協力係員 (芸術棟)
"	"	総務部会計課司計係員	山崎 公稔	総務部庶務課庶務係員
"	"	総務部会計課用度係員	廣田 由津子	教務部教務課研究協力係員 (教育・言語・社会棟)
"	"	教務部学生課学生係員	岸本 元昭	教務部教務課学部教務係員

年月日	発令事項	新官職等	氏名	旧官職等
14. 4. 1	配置換	教務部学生課学生係員	三原 敬一	総務部会計課情報システム係員
"	昇任	教務部入学主幹付専門員 (入学者選抜担当)	岡部 俊男	教務部教務課専門職員(実地教育担当) (命)専門員, 山国地区事務室長, 学校教育研究センター係長
"	"	総務部庶務課企画法規係長	岡田 雅弘	総務部会計課総務係主任
"	"	総務部施設課設備係主任	青山 照夫	総務部施設課設備係(命)主任
"	所属換	総務部庶務課庶務係員	白川 勝也	総務部庶務課職員係員
"	"	総務部庶務課研究協力係員	中西 睦美	総務部庶務課庶務係員
"	"	教務部教務課連合大学院事務係員	上山 とも子	教務部教務課附属学校係員 (小学校)
"	"	教務部教務課附属学校係員 (小学校)	坂地 亜紀	教務部教務課 学校教育研究センター係員
"	"	総務部庶務課研究協力係 事務補佐員(教育・言語・社会棟)	嶋 きよこ	教務部教務課研究協力係 事務補佐員(教育・言語・社会棟)
"	"	総務部庶務課研究協力係 事務補佐員(芸術棟)	遠藤 奈奈	教務部教務課研究協力係 事務補佐員
"	"	総務部庶務課研究協力係 事務補佐員(発達心理臨床研究センター)	多鹿 緑	教務部教務課研究協力係 事務補佐員(発達心理臨床研究センター)
"	"	総務部庶務課研究協力係 事務補佐員(生徒指導講座)	濱名 昭子	教務部教務課研究協力係 事務補佐員(生徒指導講座)
"	"	教務部学生課学生係 事務補佐員(国際交流会館)	後藤 佐和子	教務部教務課大学院教務係 事務補佐員(国際交流会館)
"	命	学術研究推進室長	佐古田 義隆	総務部庶務課課長補佐
"	"	総務部会計課情報システム係勤務	道上 隆生	総務部会計課管財係主任
"	採用	総務部庶務課研究協力係 事務補佐員(自然,生活・健康棟)	木田 景子	
"	"	総務部会計課用度係事務補佐員	松井 明代	

(附属学校)

年月日	発令事項	新官職等	氏名	旧官職等
14. 4. 8	採用	附属小学校教諭	岡田 眞也	

(事務局)

年月日	発令事項	新官職等	氏名	旧官職等
14. 4. 8	採用	教務部教務課サテライト事務係 事務補佐員	安部 幸子	

- 諸 報 -

○運営評議会

第16回 平成14年3月13日(水)

(議題)

- 1 兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科構成大学間連絡調整委員会規則等の一部を改正する規則の制定について
- 2 兵庫教育大学研究紀要委員会規程等の一部を改正する規程の制定について
- 3 兵庫教育大学大学院神戸サテライト規則

の一部を改正する規則の制定について

- 4 平成14・15年度における自己評価事項について
- 5 教員の併任について
- 6 教員の選考開始について
- 7 教員選考における教育業績等評価に関する改善について
- 8 平成14年度学内予算配分について
- 9 外国人客員研究員の受入れについて

○教授会

第11回 平成14年 3月5日(火)

(議題)

- 1 平成14年度学校教育学部個別学力検査等入学者選抜試験《前期日程》の合否判定について
- 2 平成14年度学校教育学部私費外国人留学生特別選抜試験の合否判定について

第12回 平成14年 3月13日(水)

(議題)

- 1 教員の選考について
- 2 教員の併任について
- 3 教員選考委員会の設置について
- 4 平成13年度学校教育学部卒業の認定について
- 5 平成14年度学校教育学部授業科目担当教官の変更等について
- 6 学部学生の休学及び退学について
- 7 特別聴講学生の入学について
- 8 学校教育学部授業科目の新設改廃等について
- 9 派遣留学生に係る修得単位の認定について
- 10 学校教育学部科目等履修生の入学について

第13回 平成14年 3月19日(火)

(議題)

- 1 平成14年度学校教育学部個別学力検査等入学者選抜試験《後期日程》の合否判定について
- 2 平成14年度追加合格者の決定方法について

○学校教育研究科委員会

第11回 平成14年 3月13日(水)

(議題)

- 1 平成13年度大学院学校教育研究科修了の認定について
- 2 兵庫教育大学大学院学校教育研究科学位論文に関する取扱い内規等の一部改正等について
- 3 兵庫教育大学大学院学校教育研究科履修規程の一部改正について
- 4 大学院学校教育研究科担当判定委員会の設置について
- 5 大学院学校教育研究科担当の認定について
- 6 平成14年度大学院学校教育研究科授業科目担当教官の変更等について
- 7 平成14年度既修得単位認定に係る日程について

- 8 大学院学生の退学について
- 9 研究生の研究期間の延長について
- 10 大学院学校教育研究科科目等履修生の入学について
- 11 研究生の入学について

連合学校教育学研究科委員会

第4回 平成14年 3月14日(木)

(議題)

- 1 課程修了による博士の学位授与の可否及び修了の認定について
- 2 論文提出による博士の学位授与の可否について
- 3 副指導教官の変更について
- 4 平成14年度授業科目担当教官の変更について
- 5 博士候補認定試験・試験委員について
- 6 派遣特別研究学生の派遣期間延長について
- 7 研究科学生の休学及び退学について
- 8 研究科研究生の研究期間延長について
- 9 研究科研究生の入学について
- 10 諸規程の一部改正について

外部評価会議を開催

3月27日(水), 教育, 報道関係者など学外からの有識者を評価員とする外部評価会議を新神戸オリエンタルホテルで開催した。

会議では, 「修士課程の現状と課題」, 「21世紀新構想大学プラン」等について中渕学長, 濱名, 佐藤両副学長から説明が行われたあと, 幅広く意見交換が行われた。

評価員からは, 教育, 研究, 社会貢献の観点から貴重な意見や提言が数多く出され, 今後の教育・研究活動等の指針に大きな収穫を得た。



放送大学との単位互換協定調印式

3月14日(木)、放送大学の麻生副学長を迎えて、単位互換協定書の調印式を行った。

この協定は、本学の教養教育の外国語科目について、学生の選択の幅を広げ、教育内容の充実を図るとともに、異文化理解をするための語学力を身に付けた初等教育教員の養成を目的として締結されたものである。

当分の間、学生の受け入れは、同大学が本学の学生を特別聴講学生として受け入れ、本学は、修得した単位を卒業の要件となる単位として認定することが可能となる。



やしろ国際交流推進協議会（第13回）及び外国人留学生歓送パーティーの開催

3月1日(金)、留学生の受入れ、交流の促進を図るため、やしろ国際交流推進協議会を、本学中会議室において開催した。協議会では中刈学長、小東社町長をはじめとした委員により、留学生の今後の諸施策について活発に討議が行われた。



協議会終了後、引き続き大学会館食堂において外国人留学生歓送パーティーが、総勢120人の参加のもと開催された。パーティーでは、本年3月に修了する留学生17人一人ひとりが、留学の思い出を述べた後、中国とコスタリカの留学生が母国の歌や踊り

を披露するなど和やかに歓談が行われ、別れを惜しみつつ盛会裡に終了した。

教員研修留学生の研究発表会の開催

3月7日(木)、平成13年度教員研修留学生の研究発表会を、附属図書館ライブラリーホールにおいて開催した。

この発表会は、本年3月をもって研修修了となる教員研修留学生が、本学での一年間の研究成果を発表するものである。辻田留学生専門部会長から修了者に対してねぎらいと励ましの言葉が贈られた後、韓国、コスタリカ、タイ及びフィリピンからの留学生4人が、指導教官、日本語担当教官及びチューター等約30人の出席者を前に、それぞれの研究テーマに基づき、緊張しながらも日本語で発表を行い、研修生活を締めくくった。



平成13年度谷口賞の授与

谷口賞の授与式が、3月25日（月）に事務局大会議室において行われた。

この賞は、谷口澄夫初代学長の寄附による教育研究奨励金により設けられたもので、毎年学部卒業者のうち、教職を志し、学業に優れた者に対して授与されているものである。

授与式では、中渕学長から次の受賞者7人に賞状及び記念品が授与された。

学校教育専修	宮 野 奈津美
幼児教育専修	梶 原 理 絵
言語系専修コース	森 戸 美 保
社会系専修コース	稲 津 寛 子
自然系専修コース	神 崎 恵 子
芸術系専修コース	藤 井 ま お
生活・健康系専修コース	安 達 友 香

兵庫教育大学永年勤続者表彰及び文部科学省永年勤続者表彰

平成14年3月31日付け退職の原田碩三教授及び辻田嘉邦教授に対し、退職時における兵庫教育大学永年勤続者表彰を行うことが決定され、3月19日（火）、学長から本学永年勤続者に対し表彰状の授与及び記念品の贈呈が行われた。

また、文部科学省から永年勤続者表彰を行うことが決定された西森宗八郎教務部長に対し表彰状の伝達及び記念品の贈呈が行われた。



平成14年度公開講座の案内

本学の教育・研究活動の成果を公開し、社会人の教養を高めることを目的として、今年度は次のとおり10講座を開講します。

<p>ガムランはともだち (募集人数：15人)</p> <p>*開設期間：5月11・18・25日，6月1・8・15・22日 14：00～16：00（土曜，2H，7回）</p> <p>*開設場所：兵庫教育大学 芸術棟（合奏練習室）</p> <p>*受講対象者：市民一般（小学生以上）</p> <p>*受講料：6,800円</p>	<p>理科実験・観察のカンドコロ (募集人数：12人)</p> <p>*開設期間：9月20・27日，10月4・11・18・25日， 11月1・8日 18：30～20：00（金曜，1.5H，8回）</p> <p>*開設場所：兵庫教育大学 自然棟（地学実験室）</p> <p>*受講対象者：小中高校教員及び一般</p> <p>*受講料：6,800円</p>
<p>簡単ロボット製作で学ぶコンピュータの仕組みと制御 (募集人数：15人)</p> <p>*開設期間：6月1・8・15・22・29，7月6・13日 13：30～16：30（土曜，3H，7日間）</p> <p>*開設場所：神戸ハルミア学院</p> <p>*受講対象者：市民一般（<u>兵庫の経済</u>のある中学3年生以上）</p> <p>*受講料：7,800円</p>	<p>ピアノを弾こう！ (募集人数：6人)</p> <p>*開設期間：10月5・12・19・26日，11月2日 13：00～16：00（土曜，3H，5回）</p> <p>*開設場所：兵庫教育大学 芸術棟（100・136号室）</p> <p>*受講対象者：市民一般（18才以上・音大出身者を除く）</p> <p>*受講料：6,800円</p>
<p>現職教員の実技指導能力を向上させるための講座 (募集人数：5人)</p> <p>*開設期間：7月6・13・20・27日 13：00～15：00（土曜，2H，4回）</p> <p>*開設場所：兵庫教育大学 陸上競技場・体育館</p> <p>*受講対象者：現職教員等</p> <p>*受講料：5,800円</p>	<p>発達が気になる子どもの家庭療育の方法 (募集人数：20人)</p> <p>*開設期間：10月19・26日，11月2・9・16・30日， 12月7・14・21日 14：00～16：00（土曜，2H，9回）</p> <p>*開設場所：神戸ハルミア学院</p> <p>*受講対象者：発達が気になる子どもの保護者</p> <p>*受講料：7,800円</p>
<p>スポーツが好きになる親子教室 - 泳ぎを好きにさせる水泳指導など - (募集人数：30人)</p> <p>*開設期間：7月13・14・20日，21日 9月7・28日，10月5・19・26日， 11月9日 13：30～15：30（土曜，2H，10回）</p> <p>*開設場所：兵庫教育大学 プール・体育館他</p> <p>*受講対象者：小学校低学年児童をもつ保護者</p> <p>*受講料：7,800円</p>	<p>絵画制作 (募集人数：20人)</p> <p>*開設期間：11月8・9・10・11日 13：00～18：00（金曜～月曜連続，5H，5回）</p> <p>*開設場所：兵庫教育大学 芸術棟（絵画実習室2）</p> <p>*受講対象者：市民一般（中学生以上）</p> <p>*受講料：7,800円</p>
<p>陶芸入門 (募集人数：15人)</p> <p>*開設期間：9月7・14・21・28日 10：00～16：00（土曜，5H，4回）</p> <p>*開設場所：兵庫教育大学 芸術棟（窯芸実習室）</p> <p>*受講対象者：市民一般 (中高者向け・過去の受講・経験者が望ましい)</p> <p>*受講料：7,800円</p>	<p>兵庫 - 人物と風土 - (募集人数：20人)</p> <p>*開設期間：2月1・8・15・22日，3月1日 13：30～15：00（土曜，1.5H，5回）</p> <p>*開設場所：兵庫教育大学 ライブラリーホール他</p> <p>*受講対象者：市民一般</p> <p>*受講料：5,800円</p>

- 学内委員会等委員 -

は委員長を， は副委員長を示す。表示のない委員会は未定。〔 〕は担当課を示す。

学校教育学部教務委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
佐藤 光	副学長	
島崎 保	助教授(教育基礎講座)	14. 4. 1~ 16. 3. 31
武井 敦史	講師(教育経営講座)	13. 4. 1~ 15. 3. 31
黒岩 督	助教授(教育方法講座)	13. 4. 1~ 15. 3. 31
安原 一樹	助教授(生徒指導講座)	14. 4. 1~ 16. 3. 31
名須川 知子	教授(幼年教育講座)	13. 4. 1~ 15. 3. 31
辻河 昌登	講師(教育臨床講座)	14. 4. 1~ 16. 3. 31
村田 美由起	講師(障害児教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3. 31
菅原 稔	教授(言語系教育講座)	13. 4. 1~ 15. 3. 31
中田 賀之	助教授(言語系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3. 31
佐々木 正道	教授(社会系教育講座)	13. 4. 1~ 15. 3. 31
南 埜 猛	助教授(社会系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3. 31
小池 敏司	助教授(自然系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3. 31
渥美 茂明	教授(自然系教育講座)	13. 4. 1~ 15. 3. 31
小泉 恭子	助教授(芸術系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3. 31
高木 厚子	助教授(芸術系教育講座)	13. 4. 1~ 15. 3. 31
森田 啓之	講師(生活・健康系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3. 31
松村 京子	教授(生活・健康系教育講座)	13. 4. 1~ 15. 3. 31
佐藤 真	助教授(総合学習系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3. 31
長澤 憲保	教授(学校教育研究センター)	14. 4. 1~ 16. 3. 31

〔教務課〕

大学院学校教育研究科教務委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
濱名 外喜男	副学長	
杉尾 宏	教授(教育基礎講座)	14. 4. 1~ 16. 3. 31
吉田 寿夫	教授(教育経営講座)	13. 4. 1~ 15. 3. 31
正司 和彦	教授(教育方法講座)	14. 4. 1~ 16. 3. 31
八並 光俊	助教授(生徒指導講座)	13. 4. 1~ 15. 3. 31
田中 亨胤	教授(幼年教育講座)	13. 4. 1~ 15. 3. 31
浅川 潔司	教授(教育臨床講座)	14. 4. 1~ 16. 3. 31
山口 洋史	教授(障害児教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3. 31
堀江 祐爾	教授(言語系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3. 31
吉田 達弘	助教授(言語系教育講座)	13. 4. 1~ 15. 3. 31
吉田 興宣	助教授(社会系教育講座)	13. 4. 1~ 15. 3. 31
松山 廣	教授(自然系教育講座)	13. 4. 1~ 15. 3. 31
吉岡 秀文	助教授(自然系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3. 31
水野 信男	教授(芸術系教育講座)	13. 4. 1~ 15. 3. 31
福本 謹一	教授(芸術系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3. 31
千駄 忠至	教授(生活・健康系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3. 31
小山 英樹	助教授(生活・健康系教育講座)	13. 4. 1~ 15. 3. 31
服部 範子	助教授(生活・健康系教育講座)	13. 4. 1~ 15. 3. 31
西村 治彦	教授(総合学習系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3. 31
古川 雅文	教授(学校教育研究センター)	13. 4. 1~ 15. 3. 31

〔教務課〕

学生委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
佐藤 光	副学長	
濱名 外喜男	副学長	
山中 一英	講師(教育経営講座)	13. 4. 1~ 15. 3. 31
金丸 晃二	助教授(教育方法講座)	13. 4. 1~ 15. 3. 31
横川 和章	教授(幼年教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3. 31
岩井 圭司	助教授(教育臨床講座)	13. 4. 1~ 15. 3. 31
有働 真理子	助教授(言語系教育講座)	13. 4. 1~ 15. 3. 31
吉本 剛典	助教授(社会系教育講座)	13. 4. 1~ 15. 3. 31
國岡 高宏	助教授(自然系教育講座)	13. 4. 1~ 15. 3. 31
小和田 善之	助教授(自然系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3. 31
木下 千代	助教授(芸術系教育講座)	13. 4. 1~ 15. 3. 31
初田 隆	助教授(附属実技教育研究指導センター)	14. 4. 1~ 16. 3. 31
福田 光完	教授(生活・健康系教育講座)	13. 4. 1~ 15. 3. 31
松本 伸示	教授(総合学習系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3. 31
松下 健二	教授(附属実技教育研究指導センター)	14. 4. 1~ 16. 3. 31

〔学生課〕

大学会館運営委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
佐藤 光	副学長	
川本 幸彦	事務局長	
荒川 忠雄	教務部長	
山中 一英	(学生委員会委員) 講師(教育経営講座)	

〔学生課〕

学生寄宿舎委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
佐藤 光	副学長	
川本 幸彦	事務局長	
荒川 忠雄	教務部長	
吉本 剛典	(学生委員会委員) 助教授(社会系教育講座)	

〔学生課〕

建物施設等委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
中 洌 正 堯	学長	
濱名 外喜男	副学長	
佐藤 光	副学長	
岩田 一彦	附属図書館長	
山下 伸典	連合学校教育学研究科長	
三野 耕	学校教育研究センター長	
今塩屋 隼男	運営評議会委員	
河村 昭一	運営評議会委員	
西村 年晴	運営評議会委員	
森川 京子	運営評議会委員	
増澤 康男	運営評議会委員	
安部 崇慶	運営評議会委員	
山岡 俊比古	運営評議会委員	
崎谷 真也	運営評議会委員	
森岡 茂勝	運営評議会委員	
荒木 勉	運営評議会委員	
川本 幸彦	事務局長	

〔施設課〕

附属図書館運営委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
岩田一彦	附属図書館長	
伊藤博之	助手(教育方法講座)	14. 4. 1~ 16. 3. 31
辻河昌登	講師(教育臨床講座)	13. 4. 1~ 15. 3. 31
田中雅和	教授(言語系教育講座)	13. 4. 1~ 15. 3. 31
原田誠司	助教授(社会系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3. 31
竹村静夫	助手(自然系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3. 31
山本政幸	助教授(芸術系教育講座)	13. 4. 1~ 15. 3. 31
西岡伸紀	助教授(生活・健康系教育講座)	13. 4. 1~ 15. 3. 31
長瀬久明	教授(学校教育研究センター)	14. 4. 1~ 16. 3. 31
古川雅文	教授(学校教育研究センター)	13. 4. 1~ 15. 3. 31

〔図書課〕

学校教育研究センター運営委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
三野耕	学校教育研究センター長	
田中亨胤	附属小学校長	
荒木紀幸	附属中学校長	
岡秀郎	附属幼稚園長	
古川雅文	(学校教育研究センター-学校問題解決研究部門主任) 教授(学校教育研究センター)	
成田滋	(学校教育研究センター-情報メディア教育研究部門主任) 教授(学校教育研究センター)	
上西一郎	(学校教育研究センター-実地教育支援研究部門主任) 助教授(学校教育研究センター)	
石橋尚子	助教授(幼年教育講座)	13. 4. 1~ 15. 3. 31
原田智仁	教授(社会系教育講座)	13. 4. 1~ 15. 3. 31
濱中裕明	講師(自然系教育講座)	14. 4. 1~ 15. 3. 31
木下千代	助教授(芸術系教育講座)	14. 4. 1~ 15. 3. 31
玉井輝雄	教授(生活・健康系教育講座)	14. 4. 1~ 15. 3. 31

〔教務課〕

附属実技教育研究指導センター運営委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
松下健二	附属実技教育研究指導センター長	
二谷廣二	教授(附属実技教育研究指導センター)	
鈴木寛	教授(附属実技教育研究指導センター)	
岩下碩通	教授(附属実技教育研究指導センター)	
小竹光夫	助教授(附属実技教育研究指導センター)	
初田隆	助教授(附属実技教育研究指導センター)	
永木耕介	助教授(附属実技教育研究指導センター)	
新山眞弓	助教授(附属実技教育研究指導センター)	
谷明信	講師(言語系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3. 31
保坂博光	教授(芸術系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3. 31
櫻井晨正	教授(芸術系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3. 31
千駄忠至	教授(生活・健康系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3. 31

〔庶務課〕

情報処理センター運営委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
正司和彦	情報処理センター長	
高村是雄	総務部長	
荒川忠雄	教務部長	
上地安昭	教授(生徒指導講座)	14. 4. 1~ 16. 3. 31
藤井德行	教授(社会系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3. 31
笠原恵	助手(自然系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3. 31
鈴木寛	教授(附属実技教育研究指導センター)	14. 4. 1~ 16. 3. 31
森廣浩一郎	講師(総合学習系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3. 31
成田滋	教授(学校教育研究センター)	14. 4. 1~ 16. 3. 31
山城新吾	助手(学校教育研究センター)	14. 4. 1~ 16. 3. 31

〔会計課〕

教職員福利厚生委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
濱名 外喜男	副学長	
川本 幸彦	事務局長	
安部 崇慶	教授(教育基礎講座)	13. 4. 1~ 15. 3. 31
山口 眞琴	助教授(言語系教育講座)	13. 4. 1~ 15. 3. 31
小池 敏司	助教授(自然系教育講座)	13. 4. 1~ 15. 3. 31
喜多村 明里	助教授(芸術系教育講座)	13. 4. 1~ 15. 3. 31
鞍谷 文保	助教授(生活・健康系教育講座)	13. 4. 1~ 15. 3. 31
阿部 秀高	附属小学校教諭	13. 4. 1~ 15. 3. 31
中根 良介	附属中学校教諭	13. 4. 1~ 15. 3. 31
高村 是雄	総務部長	13. 4. 1~ 15. 3. 31
荒川 忠雄	教務部長	14. 4. 1~ 15. 3. 31
伊藤 茂治	会計課長	14. 4. 1~ 15. 3. 31

〔庶務課〕

公開講座等委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
三野 耕	学校教育研究センター長	
金丸 晃二	助教授(教育方法講座)	13. 4. 1~ 15. 3. 31
藤井 德行	教授(社会系教育講座)	13. 4. 1~ 15. 3. 31
石原 諭	助教授(自然系教育講座)	13. 4. 1~ 15. 3. 31
岩下 碩通	教授(附属実技教育研究センター)	13. 4. 1~ 15. 3. 31
岸田 恵津	助教授(生活・健康系教育講座)	13. 4. 1~ 15. 3. 31

〔庶務課〕

国際交流委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
中 洲 正 堯	学長	
濱名 外喜男	副学長	
岩田 一彦	附属図書館長	
三野 耕	学校教育研究センター長	
川本 幸彦	事務局長	
寺尾 裕子	(日本語・日本事情担当) 助教授(学校教育研究センター)	
横川 和章	教授(幼年教育講座)	13. 4. 1~ 15. 3. 31
河相 善雄	助教授(障害児教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3. 31
二谷 廣二	教授(附属実技教育研究センター)	13. 4. 1~ 15. 3. 31
藤井 德行	教授(社会系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3. 31
矢吹 治一	教授(自然系教育講座)	13. 4. 1~ 15. 3. 31
竹村 厚司	助教授(自然系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3. 31
竹内 俊一	教授(芸術系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3. 31
櫻井 晨正	教授(芸術系教育講座)	13. 4. 1~ 15. 3. 31
永田 智子	講師(生活・健康系教育講座)	13. 4. 1~ 15. 3. 31
小川 武範	教授(総合学習系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3. 31
菅原 稔	教授(言語系教育講座)	14. 4. 1~ 15. 3. 31
高島 英幸	教授(総合学習系教育講座)	13. 4. 1~ 15. 3. 31
鈴木 正敏	助教授(学校教育研究センター)	13. 4. 1~ 15. 3. 31

〔庶務課, 学生課〕

保健管理センター運営委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
平田早苗	保健管理センター所長	
川本幸彦	事務局長	
荒川忠雄	教務部長	
塩見邦雄	教授(教育臨床講座)	14. 4. 1~ 15. 3. 31
浅川潔司	教授(教育臨床講座)	14. 4. 1~ 15. 3. 31
鈴木啓嗣	教授(教育臨床講座)	14. 4. 1~ 15. 3. 31
富永良喜	教授(附属発達心理臨床研究センター)	14. 4. 1~ 15. 3. 31
岩井圭司	助教授(教育臨床講座)	14. 4. 1~ 15. 3. 31
遠藤裕乃	講師(教育臨床講座)	14. 4. 1~ 15. 3. 31
村田美由起	講師(障害児教育講座)	14. 4. 1~ 15. 3. 31
有働真理子	(学生委員会委員) 助教授(言語系教育講座)	

〔学生課〕

附属学校運営協議会

委員氏名	職名(所属)	任期
佐藤光	副学長	
田中亨胤	附属小学校長	
荒木紀幸	附属中学校長	
岡秀郎	附属幼稚園長	
松尾直	附属小学校副校長	
小林多津子	附属中学校副校長	
寺澤幸子	附属幼稚園副園長	
三野耕	学校教育研究センター長	
宮本健市郎	助教授(教育基礎講座)	13. 4. 1~ 15. 3. 31
堀江祐爾	教授(言語系教育講座)	13. 4. 1~ 15. 3. 31
初田隆	助教授(附属実技教育研究指導センター)	13. 4. 1~ 15. 3. 31
笹口篤	附属小学校教諭	14. 4. 1~ 15. 3. 31
藤原俊幸	附属中学校教諭	14. 4. 1~ 15. 3. 31
林久子	附属幼稚園教諭	13. 4. 1~ 15. 3. 31

〔教務課〕

研究紀要委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
安部崇慶	教授(教育基礎講座)	14. 4. 1~ 16. 3. 31
渡邊満	教授(生徒指導講座)	13. 4. 1~ 15. 3. 31
遠藤裕乃	講師(教育臨床講座)	13. 4. 1~ 15. 3. 31
宇野宏幸	講師(障害児教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3. 31
菅井三実	講師(言語系教育講座)	13. 4. 1~ 15. 3. 31
難波安彦	教授(社会系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3. 31
藤原司	助教授(自然系教育講座)	13. 4. 1~ 15. 3. 31
喜多村明里	助教授(芸術系教育講座)	13. 4. 1~ 15. 3. 31
畑野裕子	助教授(生活・健康系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3. 31

〔庶務課〕

情報化推進委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
濱名外喜男	副学長	
岩田一彦	附属図書館長	
三野耕	学校教育研究センター長	
正司和彦	情報処理センター長	
川本幸彦	事務局長	
山中一英	講師(教育経営講座)	14. 4. 1~ 16. 3. 31
堀江祐爾	教授(言語系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3. 31
松山廣	教授(自然系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3. 31
鈴木寛	教授(附属実技教育研究指導センター)	14. 4. 1~ 16. 3. 31
山野惟夫	教授(生活・健康系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3. 31
岡秀郎	附属幼稚園長	14. 4. 1~ 16. 3. 31

〔会計課〕

実地教育委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
三野 耕	学校教育研究センター長	
田中 亨胤	附属小学校長	
荒木 紀幸	附属中学校長	
岡 秀郎	附属幼稚園長	
	(学部教務委員会副委員長)	
	(大学院教務委員会副委員長)	
上西 一郎	(学校教育研究センター実地教育支援研究部門主任) 助教授(学校教育研究センター)	
武井 敦史	講師(教育経営講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
天根 哲治	助教授(教育方法講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
河野 智文	講師(言語系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
原田 誠司	助教授(社会系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
石原 諭	助教授(自然系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
村上 裕介	助教授(芸術系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
永木 耕介	助教授(附属実地教育研究指導センター)	14. 4. 1~ 16. 3.31
千駄 忠至	教授(生活・健康系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
長澤 憲保	教授(学校教育研究センター)	14. 4. 1~ 16. 3.31
別 惣 淳二	助教授(学校教育研究センター)	14. 4. 1~ 16. 3.31

〔教務課〕

同和・人権教育推進委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
濱 名 外喜男	副学長	
佐藤 光	副学長	
三野 耕	学校教育研究センター長	
島崎 保	助教授(教育基礎講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
横川 和章	教授(幼年教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
前田 貞昭	教授(言語系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
押久保 倫夫	助教授(社会系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
澁江 靖弘	教授(自然系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
長尾 義人	助教授(芸術系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
森田 啓之	講師(生活・健康系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
安原 一樹	助教授(生徒指導講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
名須川 知子	教授(幼年教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
松尾 直	附属小学校副校長	
小林 多津子	附属中学校副校長	
寺澤 幸子	附属幼稚園副園長	
川本 幸彦	事務局長	
荒川 忠雄	教務部長	

〔学生課〕

交通対策委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
濱名 外喜男	副学長	
川本 幸彦	事務局長	
鈴木 啓嗣	教授(教育臨床講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
寺尾 裕子	助教授(学校教育研究センター)	14. 4. 1~ 16. 3.31
山下 伸典	教授(自然系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
長尾 義人	助教授(芸術系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
永木 耕介	助教授(附属実技教育研究指導センター)	14. 4. 1~ 16. 3.31
長瀬 久明	教授(学校教育研究センター)	14. 4. 1~ 16. 3.31
松尾 直	附属小学校副校長	14. 4. 1~ 16. 3.31
小林 多津子	附属中学校副校長	14. 4. 1~ 16. 3.31
寺澤 幸子	附属幼稚園副園長	14. 4. 1~ 16. 3.31
小和田 善之	(学生委員会の委員) 助教授(自然系教育講座)	
吉本 剛典	(学生寄宿舎委員会の委員) 助教授(社会系教育講座)	
高村 是雄	総務部長	14. 4. 1~ 16. 3.31
荒川 忠雄	教務部長	14. 4. 1~ 16. 3.31

〔庶務課〕

教員等就職対策委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
中 洲 正 堯	学長	
濱名 外喜男	副学長	
佐藤 光	副学長	
川本 幸彦	事務局長	
浅川 潔司	教授(教育臨床講座)	13. 4. 1~ 15. 3.31
菅原 稔	教授(言語系教育講座)	13. 4. 1~ 15. 3.31
西村 年晴	教授(自然系教育講座)	13. 4. 1~ 15. 3.31
森岡 茂勝	教授(芸術系教育講座)	13. 4. 1~ 15. 3.31
成田 滋	教授(学校教育研究センター)	13. 4. 1~ 15. 3.31
三野 耕	学校教育研究センター長	
松下 健二	附属実技教育研究指導センター長	
	(学部教務委員会副委員長)	
福田 光完	(学生委員会副委員長) 教授(生活・健康系教育講座)	
	(実地教育委員会副委員長)	
森 秀樹	助教授(社会系教育講座)	14. 4. 1~ 15. 3.31
喜多村 明里	助教授(芸術系教育講座)	14. 4. 1~ 15. 3.31
上西 一郎	助教授(学校教育研究センター)	14. 4. 1~ 15. 3.31

〔教務課,学生課〕

実験廃棄物等管理委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
佐藤 光	副学長	
今塩屋 隼男	教授(障害児教育講座)	
河村 昭一	教授(社会系教育講座)	
西村 年晴	教授(自然系教育講座)	
森川 京子	教授(芸術系教育講座)	
増澤 康男	教授(総合学習系教育講座)	
川本 幸彦	事務局長	

〔施設課〕

自己評価実施委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
佐藤 光	副学長	
河村 昭一	運営評議会委員	14. 4. 1~ 16. 3.31
安部 崇慶	運営評議会委員	14. 4. 1~ 16. 3.31
郷間 英世	教授(障害児教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
難波 安彦	教授(社会系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
澁江 靖弘	教授(自然系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
野本 立人	講師(芸術系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
成瀬 敏郎	教授(総合学習系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
高村 是雄	総務部長	14. 4. 1~ 16. 3.31
荒川 忠雄	教務部長	14. 4. 1~ 16. 3.31

〔庶務課〕

衛星通信大学間ネットワークシステム運営委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
岩田 一彦	附属図書館長	
長瀬 久明	教授(学校教育研究センター)	13. 4. 1~ 15. 3.31
森 廣浩一郎	(情報処理センター員) 講師(総合学習系教育講座)	14. 4. 1~ 15. 3.31
正司 和彦	教授(教育方法講座)	13. 4. 1~ 15. 3.31
吉田 興宣	助教授(社会系教育講座)	13. 4. 1~ 15. 3.31
西村 年晴	教授(自然系教育講座)	13. 4. 1~ 15. 3.31
福本 謹一	教授(芸術系教育講座)	13. 4. 1~ 15. 3.31
西村 治彦	教授(総合学習系教育講座)	13. 4. 1~ 15. 3.31

〔会計課〕

組換えDNA実験安全委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
平田 早苗	保健管理センター所長	
小林 和則	庶務課長	
山岡 俊比古	教授(言語系教育講座)	12.12. 1~ 14.11.30
渥美 茂明	教授(自然系教育講座)	12.12. 1~ 14.11.30
吉岡 秀文	助教授(自然系教育講座)	12.12. 1~ 14.11.30
山口 修	教授(総合学習系教育講座)	12.12. 1~ 14.11.30

〔庶務課〕

国際交流会館運営委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
濱名 外喜男	国際交流会館長	
寺尾 裕子	相談主事 助教授(学校教育研究センター)	
川本 幸彦	事務局長	
荒川 忠雄	教務部長	
鈴木 正敏	助教授(学校教育研究センター)	13. 4. 1~ 15. 3.31

〔学生課〕

企画委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
中 洌 正 堯	学長	
濱名 外喜男	副学長	
佐藤 光	副学長	
川本 幸彦	事務局長	
竺沙 知章	助教授(教育経営講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
今塩屋 隼男	教授(障害児教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
今井 裕之	助教授(言語系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
松田 吉郎	教授(社会系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
矢吹 治一	教授(自然系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
庭瀬 敬右	助教授(自然系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
保坂 博光	教授(芸術系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
喜多村 明里	助教授(芸術系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
鞍谷 文保	助教授(生活・健康系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
福田 光完	教授(生活・健康系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31

〔庶務課〕

附属発達心理臨床研究センター運営委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
上地安昭	附属発達心理臨床研究センター長	
佐々木和義	教授(附属発達心理臨床研究センター)	
富永良喜	教授(附属発達心理臨床研究センター)	
井上雅彦	助教授(附属発達心理臨床研究センター)	
伊藤博之	助手(教育方法講座)	13. 4. 1~ 15. 3.31
中村哲	教授(社会系教育講座)	13. 4. 1~ 15. 3.31
尾関徹	教授(自然系教育講座)	13. 4. 1~ 15. 3.31
新山眞弓	助教授(附属実技教育研究センター)	13. 4. 1~ 15. 3.31
西岡伸紀	助教授(生活・健康系教育講座)	13. 4. 1~ 15. 3.31

〔庶務課〕

情報公開委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
濱名外喜男	副学長	
佐藤光	副学長	
岩田一彦	附属図書館長	
山下伸典	連合学校教育学研究所長	
三野耕	学校教育研究センター長	
今塩屋隼男	運営評議会委員	
安部崇慶	運営評議会委員	
河村昭一	運営評議会委員	
山岡俊比古	運営評議会委員	
西村年晴	運営評議会委員	
崎谷真也	運営評議会委員	
森川京子	運営評議会委員	
森岡茂勝	運営評議会委員	
増澤康男	運営評議会委員	
荒木勉	運営評議会委員	
川本幸彦	事務局長	
荒木紀幸	附属中学校長	13. 4. 1~ 15. 3.31

〔庶務課〕

広報誌編集委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
濱名外喜男	副学長	
宮本健市郎	助教授(教育基礎講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
前田貞昭	教授(言語系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
濱中裕明	講師(自然系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
福本謹一	教授(芸術系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
藤岡秀英	助教授(生活・健康系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
松浦正史	教授(生活・健康系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
高村是雄	総務部長	

〔庶務課〕

ファカルティ・ディベロップメント推進委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
中洲正堯	学長	
濱名外喜男	副学長	
佐藤光	副学長	
名須川知子	教授(幼年教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
森秀樹	助教授(社会系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
本間均	教授(自然系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
米澤有恒	教授(芸術系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
千駄忠至	教授(生活・健康系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31
西村年晴	教授(自然系教育講座)	14. 4. 1~ 16. 3.31

〔庶務課〕

- 主要日誌 -

月 日	事 項
3月1日(金)	自己評価実施委員会(第13回) やしろ国際交流推進協議会 外国人留学生歓送パーティー
3月4日(月)	学部入学試験委員会(第10回)
3月5日(火)	第11回教授会 附属図書館運営委員会 研究生選考委員会 学部科目等履修生選考委員会 学部後援会理事会 教職員特別定期健康診断
3月6日(水)	学部前期日程入学者選抜試験等合格者発表 大学院教務委員会(第10回) 学部教務委員会(第11回) 大学院科目等履修生選考委員会 就職セミナー「教職ガイダンス」(第7回)
3月7日(木)	教員研修留学生研究発表会 保健管理センター運営委員会(第2回)
3月8日(金)	自己評価実施委員会(第14回)
3月11日(月)	就職相談室運営会議(第3回)
3月12日(火)	学部後期日程入学者選抜試験 学生寄宿舍棟長会
3月13日(水)	第16回運営評議会 第12回教授会 第11回学校教育研究科委員会 附属中学校卒業証書授与式 附属実技教育研究指導センター運営委員会(第2回) 連合学校教育学研究科連絡会(第10回)
3月14日(木)	放送大学との単位互換協定調印式 連合学校教育学研究科委員会(第4回) 大学院修了者,学部卒業生公表
3月15日(金)	実地教育委員会(第7回) 学校教育研究センター運営委員会(第5回)
3月18日(月)	学部入学試験委員会(第11回) 附属幼稚園修了証書授与式
3月19日(火)	附属小学校卒業証書授与式 退職時兵庫教育大学永年勤続者表彰式・文部科学省永年勤続者表彰伝達式 第13回教授会
3月20日(水)	学部後期日程入学者選抜試験合格者発表
3月25日(月)	大学院学校教育研究科学学位記授与式 学校教育学部卒業式

	大学院学校教育研究科(夜間クラス) 学位記授与式 谷口賞授与式
3月26日(火)	連合学校教育学研究科学学位記授与式 入学者選抜方法研究委員会(第4回)
3月27日(水)	学部教務委員会(第12回)



プリントアウトの
無駄をなくそう
~印刷前にもう一度確認を~

編集発行 兵庫教育大学総務部庶務課

〒673-1494 兵庫県加東郡社町下久米942-1

電話 代表(0795)44-1101